

(1月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
だいこん		12,282	100	12,364	81	86	72	-	-	千葉、神奈川産中心の入荷で全体の約9割を占め、潤沢な出荷ペースが続く。全体の入荷量は前年並で、価格は前年を下回るがほぼ平年並の見込み。
にんじん		7,490	93	7,167	77	143	96	-	-	千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。今シーズンは猛暑干ばつの影響により出荷は遅れ気味で小振り傾向。作柄は全般に不良で、豊作だった前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
はくさい		12,524	99	12,793	36	153	43	-	-	茨城産中心の入荷で全体の8割を占める。本年は平年作で前年比99%。ただし、降雪があれば大幅減もある。価格は前年を上回る見込み。
ほうれんそう		1,721	104	1,860	507	79	429	-	-	埼玉、茨城、群馬を中心とする関東産が市況をリードする。12月前半、暖冬気味に推移したことから、生育は前進傾向。全体の入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。
キャベツ類		12,518	100	12,819	102	78	94	-	-	愛知、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。今年は全般的に小玉傾向で、年内にピークを迎えたことから来月の後半は少なめとなり、価格もしっかりしてくる見通し。全体の入荷量は前年並で、価格は前年を下回る見込み。
ねぎ		5,164	99	5,260	269	93	232	29	0.6	千葉、埼玉を中心とする関東産が市況をリードする。今シーズンは生育の遅れから少なめと予想される。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を下回るが平年比では高い見込み。
レタス類		5,630	102	7,088	258	90	250	-	-	静岡、香川産中心の入荷で約5割を占める。今年は全国的に作柄良好で、1月も順調に出荷される見通し。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を下回る見込み。

(1月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
きゅうり		5,463	100	4,969	345	101	432	-	-	千葉を中心とする関東産、高知などの暖地産が市況をリードする。12月は安値であったが年末には持ち直す見込み。全体の入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。
なす		1,505	102	1,584	410	103	393	-	-	高知、福岡産中心の入荷で全体の約8割を占める。今年は西日本の天候が安定だったため全般的に作柄は良好。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格も前年を上回る見込み。
トマト		4,581	101	4,970	362	102	324	-	-	愛知、熊本の暖産が市況をリードする。12月になって出荷が安定し平年作に届くようになった。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや上回る見込み。
ピーマン		1,251	97	1,284	661	91	632	-	-	宮崎、高知、茨城産中心で全体の約9割を占める。各産地とも作柄は不良傾向。寒波がくるとかなり少なくなることも予想される。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を下回る見込み。
ぱれいしょ		7,524	98	7,563	138	98	115	-	-	北海道産中心の入荷で市況をリードする。北海道産貯蔵ものは少なく、年明け以降も品薄状態が続く。一方、長崎産は作柄良く前年を上回る出荷量が見込まれる。全体の入荷量は前年を下回り、価格も久しぶりに前年を下回る見込み。
たまねぎ		8,145	98	8,533	127	105	97	-	-	北海道中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道産は貯蔵量が減少していることから出荷量は前年を大きく下回り、国産品の不足感は強まる。輸入量は業務用だけでなく店頭販売向けとして前年より増える見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。